

# 校長室の窓から

兵庫県立三木高等学校長 前田 哲男

H29 No.2 H29.6.21.

2017年度もはやスタートしてから2ヶ月半が過ぎました。私も4月に着任してから、慌ただしい日々が続いていますが、三木高校とそこで学ぶ生徒たちへの愛情が、日に日に強くなってまいりました。今は三木高校の校長であると同時に、熱烈な三木高校のファンでもあります。今回は、私を感じる三木高校の魅力について、具体的にご説明したいと考えています。

魅力1 まず一つ目は、三木高校の恵まれた教育環境です。本校のグラウンドはとにかく広大で、その北側には、競技を観戦できる屋根付きのスタンドがあります。また、テニスコートは7面あります。そして校内の庭も広く、緑も多いです。これほどの環境で学ぶ生徒たちは本当に恵まれています。

魅力2 2つめは、三木高校が長い歴史の中で培ってきた国際理解教育、グローバル教育の特色です。具体的には、文部科学省より Super English Language High School の指定を受けたり、西オーストラリア州のパースにあるワナルー高校との長きにわたる交流などを先進的に進めてきました。また国際交流振興会というしっかりとした組織により強力な支援をして頂いていることも、この本校の特色の理由でもあります。

魅力3 3つめは本校の生徒たちです。人の話を素直に聞けること。自分の意見をしっかりと述べられること。限られた制約の中で、最大限の努力をすること。そして他人に対して思いやりのある生徒が多いこと。このようなことは、なかなか言葉では説明しにくいことですので、ぜひ本校を訪問して頂き、生徒と話してみてください。ご理解頂けると幸いです。

先日本校の文化祭である釜城祭が行われ、三木高生の魅力を発信しました。今後は、どんどん校外にも出向き、生徒が活躍していきます。どうぞご期待ください。



釜城祭での模擬店の様子



釜城祭での茶道部のお茶会